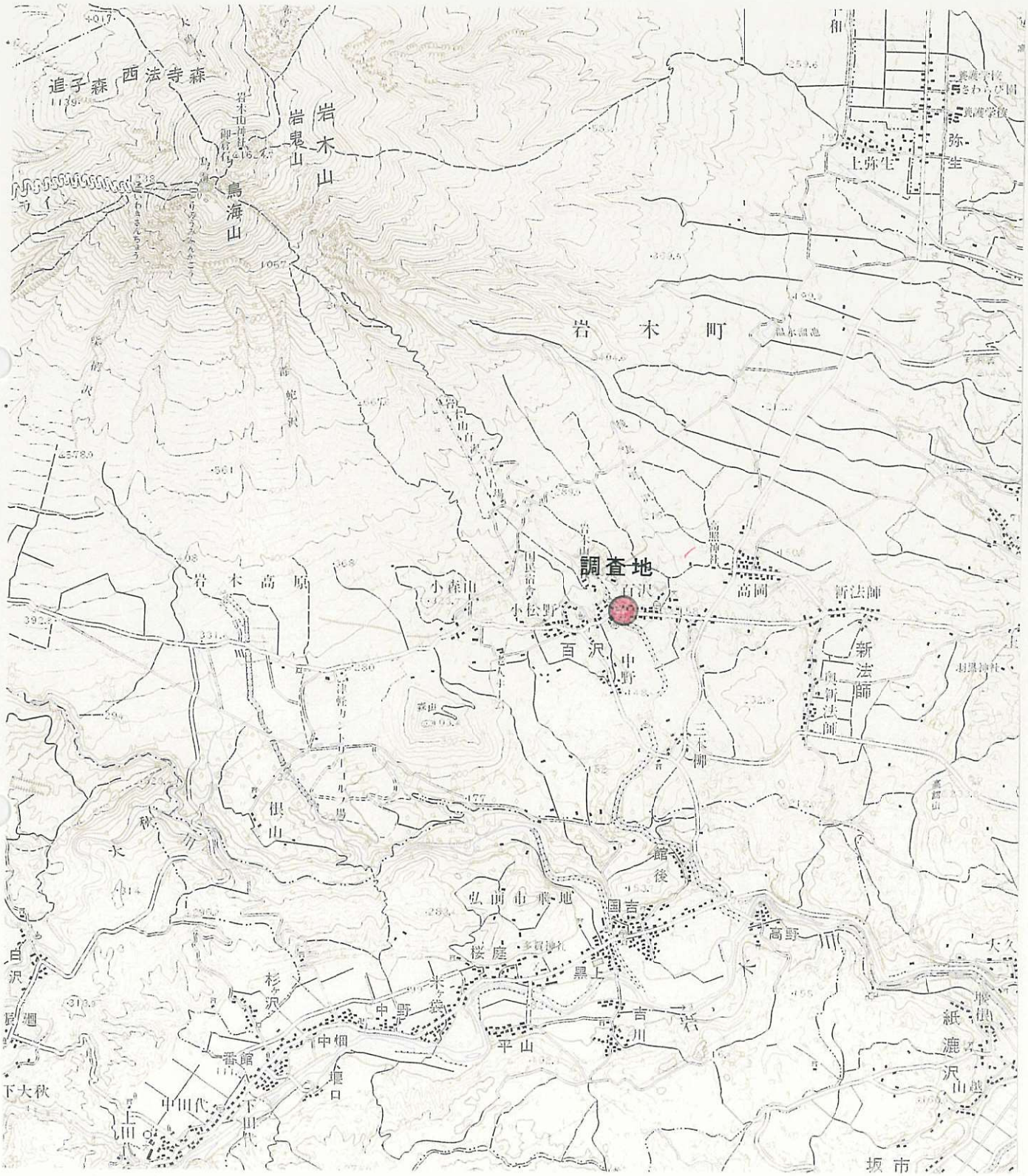
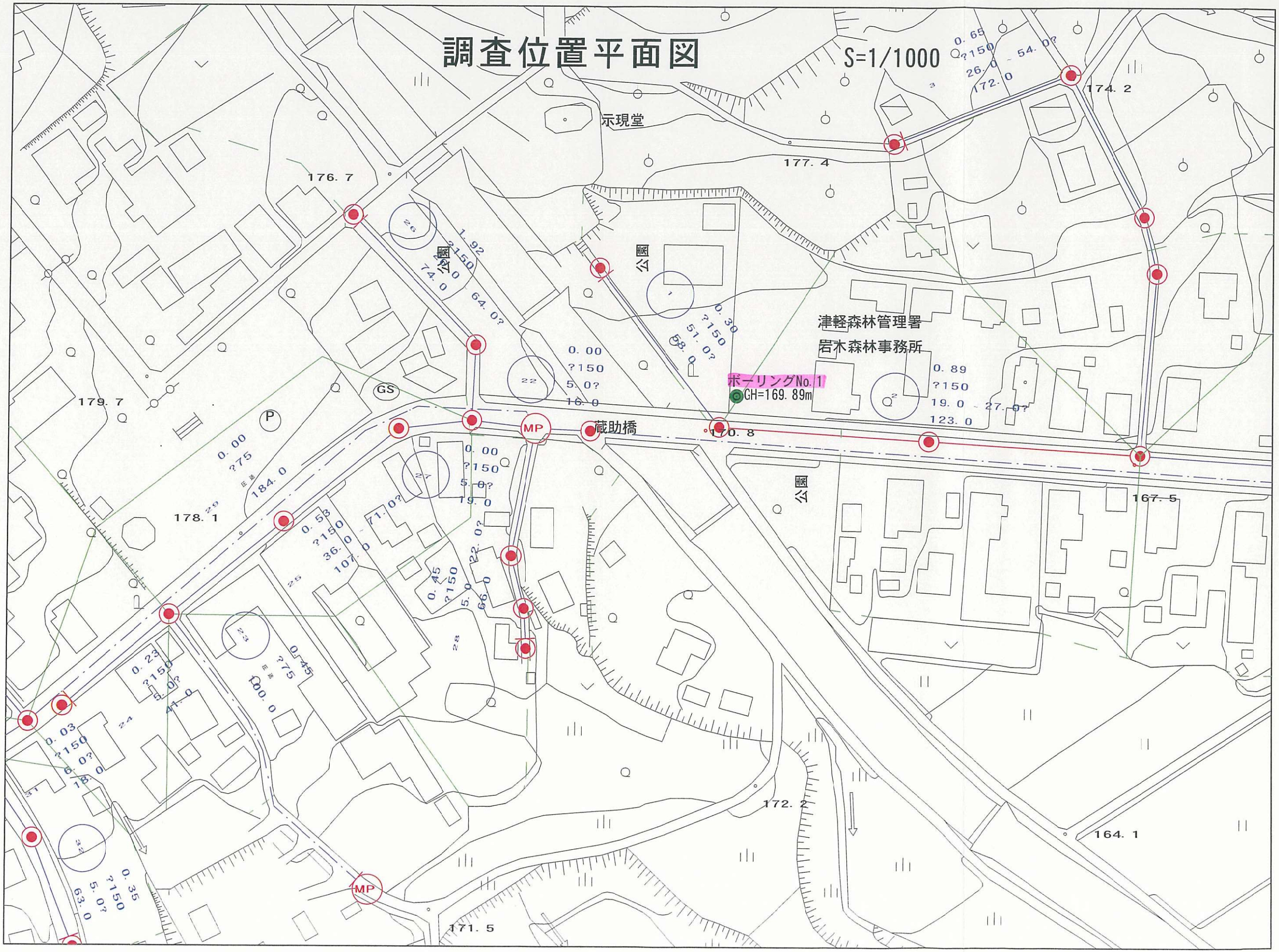


図1.1　調査位置案内図　縮尺 1:50,000

国土地理院の地形図「弘前」より抜粋

調査位置平面図

S=1/1000



27

ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度　百沢地区地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo.										

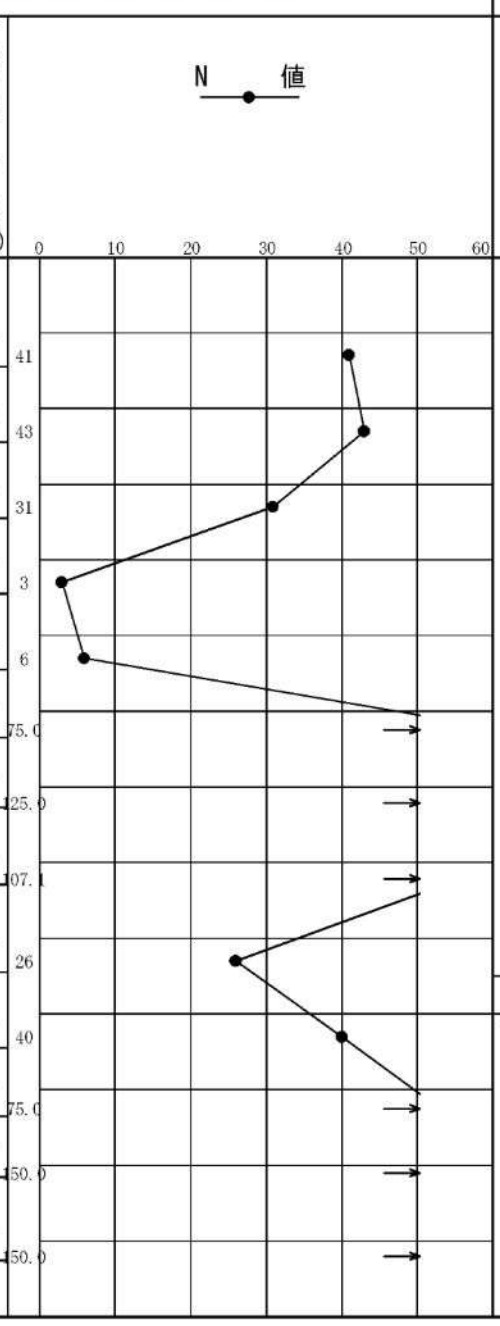
シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	青森県弘前市大字百沢地内							北緯	40° 37' 10.8"
発注機関	弘前市　上下水道部				調査期間	平成 28年 10月 3日 ～ 28年 10月 8日				東経	140° 20' 42.2"
調査業者名	株式会社　大成コンサル 電話（0172-33-2781）	主任技師	對馬　剛		現場代理人	齋藤修次	コア鑑定者	齋藤修次		ボーリング責任者	舘田仁史
孔口標高	GH=169.89m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0°	使用機種	試錐機	KR-50HCW	ハンマー落下用具	半自動落下方式
総掘進長	13.25m								エンジン	NFD-12	ポンプ	V-5P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事		孔内水位(m)／測定月日
1					玉石混じり砂礫	暗灰～灰			玉石と礫が砂とシルトにより充填される礫質土。 φ=20cm前後の玉石が確認された。 硬い玉石はダイヤで比較的軟らかい玉石はメタルで掘進した。 GL-0～0.9m間は盛土と考えられる。 GL-0.9～1.2m間に浮石混じり砂挟む。 GL-0～3.0m間はシルト分を多く含む。 GL-1.5～1.75m間に非常に硬い玉石を挟む。 石英安山岩の玉石主体。	沖積層	10/4 1.75
2											
3	166.09	3.80	3.80								
4					砂混じりシルト	暗灰～黒暗灰			粘土質。砂を多く含む所と少ない所がある。 所々φ=2～20mm位の礫混入。 所々有機物混入。		
5	164.09	2.00	5.80								
6					砂礫	暗灰			充填物は砂とシルトで砂主体。 礫はφ=2～75mm位の細～粗礫。 腐木混入。		
7											
8	161.09	3.00	8.80								
9	160.79	0.30	9.10		有機質土	黒暗灰			シルト粘土化が進んだ有機質土。 硬い。		
10					礫混じり砂	暗灰			砂は細～粗砂。 礫はφ=2～50mm位。 上部は礫少ない。 所によりφ=10cm位の玉石が確認された。 GL-10.5～10.6m間に硬い有機質土を挟む。	洪積層	
11											
12	157.04	3.75	12.85								
13	156.64	0.40	13.25		シルト混じり砂	暗灰			砂は細砂。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	12	14	15	41／30	41
1.45 2.15	7	4	32	43／30	43
2.45 3.15	10	8	13	31／30	31
3.45 4.15	1	1	1	3／30	3
4.45 5.15	2	2	2	6／30	6
5.45 6.15	8	42		50／20	75.0
6.35 7.15	31	19／2		50／12	125.0
7.27 8.15	40	10／4		50／14	107.1
8.29 9.15	12	8	6	26／30	26
9.45 10.15	20	8	12	40／30	40
10.45 11.15	18	32		50／20	75.0
11.35 12.05	50			50／10	150.0
12.15 13.15	50			50／10	150.0
13.25					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
9.50	透水試験	9.10	1-1	㊀	含水・粒度	
10.00		12.85				